

令和2年
伊豆市議会6月定例会

一般質問

令和2年6月

令和2年伊豆市議会6月定例会一般質問者と質問事項

6月17日(水)午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
1	11. 小長谷 順二	1 新型コロナウイルス感染症に関する対応状況と今後の対策	市 長 教育長	1
2	14. 杉山 誠	1 避難所の感染症対策	市 長	3
		2 新中学校整備計画と防災公園の計画は同時並行で進めてはいかがですか	市 長 教育長	4
		3 生活が困窮する世帯への支援策について	市 長	
3	1. 波多野 靖明	1 イズシカ問屋について	市 長	5
		2 伊豆市の学校教育ICT環境の整備について	教育長	
4	10. 永岡 康司	1 新ごみ焼却施設整備とごみ減量について	市 長	6

6月18日(木)午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
5	3. 星谷 和馬	1 副市長就任によせて	副市長	8
		2 新型コロナウイルス感染症対策	市 長	
6	16. 木村 建一	1 新型コロナウイルス感染予防対策を取り入れた教育環境整備を	教育長 市 長	10
		2 修善寺地区の小中学校再編に関わる財政負担の検討はされていますか	教育長 市 長	
		3 営業自粛要請時の協力金と地域経済応援給付金の金額の根拠を求めます	市 長	11
		4 新型コロナウイルスとの複合災害想定した避難所対策	市 長	
7	2. 山口 繁	四期目に臨む市長所信表明に関して 1 所信表明の具体論に入る前に	市 長	12
		2 示された四点について	市 長	13
8	9. 青木 靖	1 政策の実効性を高める行政改革とは	市 長	16

6月19日（金）午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答弁を求 めるもの	ページ
9	7. 杉山 武司	1 伊豆市の新型コロナウイルス感染症対策と今後の対応、対処について	市 長	18
		2 会計年度任用職員制度の運用の実態は	市 長 教育長	21
10	15. 森 良雄	1 防犯カメラ	市 長	22
		2 働き方改革	市 長	23
		3 通学路の安心・安全	市 長 教育長	24
		4 トレイルランニングレース	市 長	
		5 修善寺南小学校のトイレ	市 長 教育長	25
		6 通学路に溝蓋を	市 長	
		7 アフターコロナ	教育長	
11	10. 西島 信也	1 市長選挙法定ビラについて	市 長	26
		2 コロナ禍による事業見直し	市 長	
		3 コロナ禍営業自粛協力金等の支給格差	市 長	
		4 老朽化マンションの管理適正化	市 長	27
		5 小中学生の学習の遅れ	教育長	28
		6 東こども園の園児数	市 長	





発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2 年 6 月 5 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 11 議員名 小長谷順二

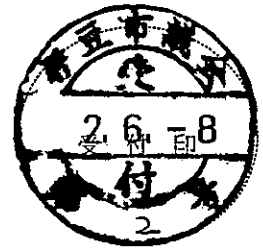
No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑・ 反対討論・ 賛成討論・ その他()		答 弁 を 求める者
発 言 の 要 旨		
件 名	内 容	求 める 者
新型コロナウイルス感染症に関する対応状況と今後の対策	<p>緊急事態宣言指定地域などから市内への来訪が続いていることから、「市民の生命を守ることを最優先に、伊豆市では4月13日から5月6日まで、市内の宿泊業者・飲食業者に、営業の自粛要請をおこないませんでした。その後、ゴールデンウィーク終了までの自粛の効果が、新型コロナウイルスの一般的な潜伏期間である2週間後に出るものと想定し宿泊業者、飲食業者、観光施設への営業自粛を5月20日まで延長しました。その結果6月5日まで市内の感染者は確認されておらず自粛の効果は表れています。その一方、特に首都圏をマーケットに観光で生計を立てている市内の経済は落ち込み、自粛要請解除後も非常に厳しい状況になっています。</p> <p>緊急事態宣言が5月25日に全面解除された後、北九州市や東京都ではクラスターの発生が確認され、いったん収まった感染者が再び増え始めており、経済活動の再開に向けた動きが進む中、コロナウイルス感染の「第2波」への警戒も広がっています。</p> <p>当市は、いち早く「伊豆市新型コロナウイルス対策本部」を設置し、感染防止対策や安全安心な市民生活のための事業に取り組んできました。議会運営委員会、正副議長・各委員長の5役会、全員協議会等で議会とも、コロナ対策について協議を行ってきましたので、これまでのコロナウイルス対策の検証について伺います。そして、4月27日に会派 IZU 未来で提出した「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」の対応と、刻々と変わる状況下における今後の対策について質問をいたします。</p>	市長 教育長

	<p>1) 感染拡大防止</p> <p>① 「人との接触を8割減らす10のポイント」を市民に周知徹底すること。又、伊豆市役所職員の感染防止について</p> <p>② 医療機関・福祉施設や乳幼児等が利用する施設に対する感染防止対策の支援について</p> <p>2) 経済対策</p> <p>① 宿泊業・飲食業に加え、事業に深刻な影響を受けている業種への支援拡大について</p> <p>② 収入が激減した家庭への支援について</p> <p>③ 特別定額給付金（10万円）については、市民への速やかな給付が行われるように努め、又、「給付金詐欺」から市民を守る取り組みを強化について</p> <p>④ 収束後の観光誘致や地域経済の回復に向けて、対応策の事前準備の状況について</p> <p>3) 学校休業への対応</p> <p>① 他地域で行われているオンライン授業に代わる対応について</p> <p>② 長引く学校休業に伴い、児童・生徒、及び保護者に対しての「こころのケア」配慮について</p> <p>4) 正しい情報発信</p> <p>① 感染不安から生じる嫌がらせ行為、医療関係者やその家族等へのコロナ差別・コロナいじめ、又、外出自粛の長期化に伴う家庭内暴力・DV等の発生防止について</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症対策室（コロナ相談専門窓口）の周知徹底について</p> <p>③ 医療や経済・教育などあらゆる分野への影響が、より深刻で重大なものとならないよう、コロナ対策本部長である市長自ら、国・県と連携を取りつつ、市ホームページやFMIS等で積極的に情報発信を行うこと、又手話通訳者付きの動画を作成するなど、情報弱者等への情報発信について</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年 6月 8日

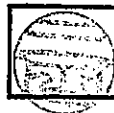
伊豆市議会議長 様

議席番号 14 議員名 杉 山 誠

No. 1

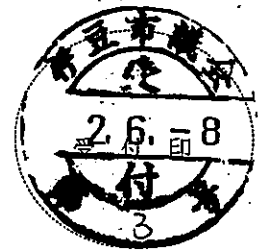
発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
避難所の感染症対策	<p>これから本格的な梅雨、そして台風シーズンを迎えます。</p> <p>阪神・淡路大震災や東日本大震災をはじめ、過去の避難所でもインフルエンザなどの流行があったが、新型コロナウイルス感染症が収束しない中で、感染を広げないために自然災害にどのように備え行動すべきかが問われています。</p> <p>国では新型コロナウイルスを含む感染症対策の実施を盛り込んだ防災基本計画の修正を行い、避難所の過密を抑制するため避難先を分散させる必要性を強調しています。これまでの指定避難所のほかに利用できる施設はないか、ホテルや旅館など民間施設の活用も考える必要があります。</p> <p>また住民に対しては、危険な場所にいる人は避難所での感染を恐れて避難をためらうことがないように訴えるとともに、公設の避難所だけでなく安全な親せきや知人宅も避難先として考えることを提案しています。</p> <p>防災・減災に関わる 58 の学会で作る「防災学術連継体」も 5月1日、感染症と自然災害の複合災害に備える「緊急メッセージ」を発表し、公的避難所を利用する住民の数を町内会などが事前に把握し、自治体側に伝えておくことなどを提案しているが、地方自治体として避難所運営マニュアルの見直しをはじめ、床に寝ないことでウイルスの吸収防止に効果がある段ボールベッドや、室内を区切るパーティションなどの備蓄を進め、従来から環境の悪さが指摘されていた避難所の環境改善を進めるとともに、住民に対して自らの命を守る最善の行動がとれるように情報提供をする必要があります。</p> <p>当市の現状と課題、今後の対応をどのように考えますか。</p>	市長

件名	内容	答弁を 求める者
<p>新中学校整備計画と防災公園の計画は同時並行で進めてはいかがですか</p>	<p>教育委員会から新中学校基本構想について報告があり、各戸配布による市民への広報も行われました。</p> <p>令和7年度日向地区への開校めざし、残された課題を解消しながら着実に事業を進めていただきたいものです。</p> <p>一方、近年発生頻度が増している大型台風や集中豪雨そして南海トラフ巨大地震のような、私たちの生命を脅かす自然災害の脅威から市民の命を守る防災・減災対策も重要な課題です。</p> <p>市長は所信表明の中で防災拠点公園について「行政課題として残っている防災機能を備えた拠点公園について、早急にそのあるべき姿についての検討を進めたい。備えるべき機能、施設、規模等について具体化し、市民の意見や財政状況を踏まえて事業化に向けての課題を整理します」と述べられました。</p> <p>私はこれまでの防災公園整備研究会の勉強会や先進事例視察、3月定例会での一般質問などを通じて、防災公園の役割や機能など本市にとって本当に必要な施設と感じています。</p> <p>また用地については、学校と隣接することで学校への避難者の生活支援活動がスムーズに行えることや、公園を仮設住宅用地として活用することで、学校避難の長期化による生徒の学習への影響を最小限にすることができるなどのほか、平常時には学校周辺に広場や緑地、親水空間が広がることで生徒が運動する広場が増えることや学校の環境が向上すること、さらに駐車場などを共有することで十分なスペースが確保できるなど、多くのメリットがあることを確認してきました。</p> <p>農振除外等個々に行う必要はあるとしても、隣接させることのメリットを最大限生かした計画を同時並行的に進めていくことが必要ではないでしょうか。</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>生活が困窮する世帯への支援策について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、子育てや介護などで特に支援が必要な世帯に経済的負担が重くのしかかっています。</p> <p>国の第1次補正予算、2次補正予算案では「地方創生臨時交付金」が計上され、地域の実情に即した生活支援策の展開が期待されています。また、社会福祉法などの改正で、「断らない相談支援」を目標に市町の取り組みを後押しするとしています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けているとされるひとり親世帯などに、市独自の支援策を設けてはいかがですか。</p>	<p>市長</p>



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

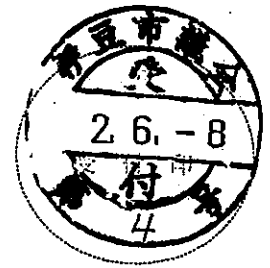
令和 2年 6月 8日

伊豆市議会議長 様

議席番号 1番 議員名 波多野 靖明

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・質疑・反対討論・賛成討論・その他()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. イズシカ問屋について	<p>令和2年度当初予算には、食肉加工センター管理運営事業に、26,228千円の予算が計上されています。</p> <p>有害鳥獣捕獲事業の一環として、狩猟者の捕獲意欲の向上と負担の軽減、地域資源の有効活用を目的とするとあります。</p> <p>農作物に被害をもたらす鳥獣被害対策とイズシカ・イズシシの消費拡大とブランド化の構築は、まさに一石二鳥の効果的な取組であると考えます。</p> <p>そこでイズシカ問屋の適正な運営、認知度アップについて、その現状と今後の課題についてお伺いします。</p>	市長
2. 伊豆市の学校教育 ICT環境の整備について	<p>前回3月議会にて、麴町中学校の取り組みについて質問させて頂き、学校教育のICT化についても触れさせて頂きました。</p> <p>教育委員会として、家庭のインターネット環境について保護者にアンケート調査を行ったと聞いていますが、アンケート結果についてお聞きします。</p> <p>また、一部の市町では小・中学生、全生徒にタブレット配布を検討している地域もあると新聞報道で知りましたが、伊豆市の教育環境のICT化はどのようにお考えでしょうか。</p>	教育長



発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

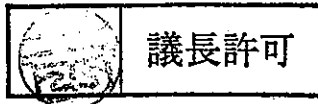
令和 2 年 6 月 8 日

伊豆市議会議長 様

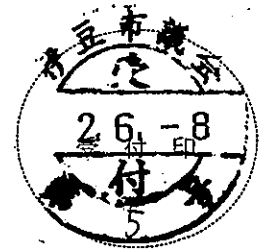
議席番号 10 議員名 永岡 康司

発言の種別 (○で囲む)		答 弁 を 求 め る 者
○一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()		
発 言 の 要 旨		
件 名	内 容	
新ごみ焼却施設 整備とごみ減量 について	<p>市長は、所信表明で新ごみ焼却施設については、今年度から本格的に着工されるといわれました。</p> <p>総工費 189 億 9.964 万円、施設の規模は 82 t /日、伊豆市・伊豆の国市からでるごみの総量は 66 t /日となっています。</p> <p>請負業者は「桜グループ」荏原環境プラント株式会社・若築建設株式会社・青木興業株式会社・中豆建設株式会社・土屋建設株式会社の 5 社です。</p> <p>既に予算化され工事も進んでいることから異議を唱えるものではありませんが、今後、4 年間行政を預かる市長に次の考えをお聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 紙 (ペーパー) の再資源化・再利用を進めませんか。(目標 100%) 2) 使用済みの紙おむつやペット用シーツの再処理・再資源化 (現在、100%が焼却されている) を考えませんか。 3) 建設される新施設の焼却量に含まれる木皮ですが、貯木場から出される量が、年間 200 t とされていますが、これは全て焼却の予 	市長

	<p>定です。この木皮をチップ化して発酵させ、 土壌改良剤として使用できませんか。</p>	
--	---------------------------------------------------	--



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年 6月 8日

伊豆市議会議長 様

議席番号 3 議員名 星谷和馬

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		発言の要旨	答弁を 求める者
件名	内容		
副市長就任によせて	<p>伊豆市は平成16年4月1日4町が合併し、今日に至っております。この間の人口は9500人程も減少です。さまざまな事業を実施、対策も講じてきましたが効果はありません。</p> <p>企業、産業の実態は全て中小、零細事業であり経営基盤は決して盤石ではありません。</p> <p>基幹産業の観光関連は新型コロナウイルス感染症の影響で多大な損害を受けております。</p> <p>この様な経済状況への対応や人口減少対策、更に大地震に不安が残る市役所本庁舎など伊豆市には課題があります。</p> <p>そこで、本年5月に就任された副市長に、市長はどのような役割を期待しているか伺います。</p>	市長	
新型コロナウイルス感染症対策	<p>新型コロナウイルス、大発生から僅か5ヶ月で全世界を感染させ、未だ終息の見込みが読めません。</p> <p>全世界の国々が対応に大変苦慮しております。</p> <p>過去において、人類はさまざまなウイルス、病原菌を克服し健康を保って現在に至っております。</p> <p>新型コロナウイルスも治療薬、ワクチンの開発により、いずれ終息します。この間社会、経済活動も大きく変化しアナログからデジタルへ移行、IT、AIへと進化します。国は、新型コロナウイルスと共生しながらV字回復を目指しております。倒産、廃業を防止し雇用を守るべき、さまざまな補助金等を給付支援しております。</p> <p>伊豆市においてもプレミアム商品券の発行、宿泊、飲食業者に手厚く支給しました。また他の業者にも経済支援、給付金を支給することとしました。</p>	市長	

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>以下について質問します。</p> <ol style="list-style-type: none">1 宿泊、飲食業者への協力金の進捗状況を伺います。2 宿泊、飲食業者とその他の業者との金額の差について伺います。3 予想される第2波の対応について伺います。4 財政面の問題はないか伺います。	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

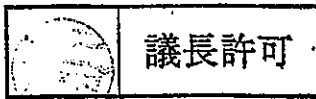
令和2年 6 月 5 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 16 議員名 木村建一

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑・ 反対討論・ 賛成討論・ その他 ()		
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 新型コロナウイルス感染予防対策を取り入れた教育環境整備を	<p>新中学校建設などで、新型コロナウイルス感染症から生徒たちの心と体の健康を何よりも優先することが求められています。</p> <p>①新型コロナウイルス感染症対策専門家会議は、「新しい生活様式として、身体的距離の確保を呼びかけ、人との間隔はできるだけ2メートル、最低1メートル空けること」を基本としています。新しい生活様式に応えた教育環境への対応をお尋ねします。</p> <p>②天城放課後児童クラブの子どもたちが「密」にあることは承知していると思いますが、対策及び旧狩野幼稚園を利用することは考えませんか。また、2つのトイレの和式を、洋式に変更しませんか。</p>	教育長 市長
2. 修善寺地区の小中学校再編に関わる財政負担の検討はされていますか	<p>「修善寺地区4小学校の再編成の時期は、中学校3校の再編統合後とします。」とのことですから、5年以上先になります。「クラス替えができないということに、教育上大きな問題」(平成21年学校再編計画)への見解と財政シミュレーションをお尋ねします。</p>	教育長 市長

件 名	内 容	答 弁 を 求める者
3. 営業自肅要請時の協力金と地域経済応援給付金の金額の根拠を求めます	<p>営業自肅要請と同時に協力金(1次支給 宿泊業を40万円、飲食業20万円)を打ち出したことは、評価します。その後、宿泊業の出入り業者の営業・生活への対策を議会も要求しましたが、出入り業者も含めて10万円を経済応援金給付金としました。違った額を提示していますが、根拠を明らかにしてください。また、予備費残2億円と地方創生交付金1億4200万円の用途を伺います。</p>	市長
4. 新型コロナウイルスとの複合災害想定した避難所対策	<p>防災公園を一概に否定するものではありませんが、新型コロナウイルス感染症の終息のめどが全く見えない中、地震や台風など発生した時の避難所などの対策を優先すべきではありませんか。</p>	市長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年6月5日

伊豆市議会議長 三田 忠男 様

議席番号 2 議員名 山口 繁

発言の種別 (○で囲む) <input checked="" type="radio"/> 一般質問 ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()		答 弁 を 求 め る 者
発 言 の 要 旨		
件 名	内 容	
四期目に臨む市長所信表明に関して	<p>三期 12 年を経て、一般的には多選批判が出始める状況のなかで、四期目に果敢に挑戦し、その栄を勝ち取り、市長職を継続することとなったことに改めて敬意を表します。</p> <p>そして、向こう 4 年間の市政運営について、伊豆市民の最大幸福のためにご尽力賜りますようお願い申し上げながら、本定例会における市長所信表明に関して質問をいたします。</p>	市長
1. 所信表明の具体論に入る前に	<p>① 前段にありましたように、12 年前、市長に就任されて初めての所信表明からの引用をされています。4 年前にも同様に引用されたとのことです。</p> <p>さて、この引用ですが、「新たな伊豆モデルを作るために」で始まり、「新たな歩みを進める勇気が必要です」で締めくくっています。つまり、何らかの政策を実行していくために「勇気が必要」ということを言っているわけで、それは市長ご自身の姿勢を示したものであります。新任の市長がスタートするときの所信として基本姿勢を示したということでは良いのかもしれませんが、期を重ねた三期目、四期目に取って表明するようなことでしょうか。先ずそのことの真意を伺います。</p> <p>② そして、この所信表明全体を見たときに市民に夢と希望を与えるようなものであるのかという点において圧倒的に不足感があると思います。三期 12 年の経験の積み重ねの上に四期目があります。この 12 年の間、順調に進められた事業もありますが中止を余儀なくされたものもあります。特に後者については、その失敗の本質をしっかりと捉え、反省するべき</p>	

<p>2. 示された四点について</p>	<p>は反省し、次なる展望に繋げるべきです。</p> <p>四期目ともなれば、市政の集大成をめざした重厚な所信が表明されるものと誰もが思います。そしてそれは、3万人市民の共感を得られるものでなければなりませんし、何よりも9千人余の支援者の期待に応えるものでなければなりません。残念ながらそのようなには思えません。このことに関しての見解をお聞きしたいと思います。</p> <p>③ また、今現在の置かれている環境からすると、所信でも示されているように新型コロナウイルス感染症対策が最優先課題となります。市内での感染者を発生させないこと、市内の社会経済活動を安定的な回復軌道に乗せることは、市民の生命と財産を守り持続可能な伊豆市を作り上げていくために極めて重要で必須の課題です。所信では、この対策が東京2020大会への最大の支援策であるとしていますが、新型コロナ対策は恒久的に市民の生活をいかに守るかという視点が第一義にあるべきで、来年に延期された東京2020大会に結び付ける考え方には違和感をおぼえます。この点についての見解を伺います。</p> <p>① 伊豆市の未来を拓くための主要3事業として、「新ごみ焼却施設」「中伊豆温泉病院」「新中学校」が挙げられています。この3事業については、いずれも合併特例債を活用するもので、期限内の完了を目指して「慎重かつ遅滞なきよう着実に進める」とあります。伊豆市の未来を拓くためには、到達ゴールを二度も引き延ばした新市建設計画に示された27事業を完遂させることが必要で、そのいずれもが重要なものがあります。事業の重要性やその優先順位付けの判断として、財源確保を第一義とするのか、市民生活における必要性に重きを置くのか、その点についての見解を伺います。</p> <p>② 新型コロナ対策は、当面する課題を克服したその先には、コロナ以前とは劇的に変わるであろういわゆる「新しい日常」と称される社会生活が待っています。コロナ以前に方針が決められた主要三事業について、ポストコロナを見据えて事業</p>	<p>市長</p>
----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------

の組換えの必要性があるのかないのかといったことを検証すべきです。例えばですが、○中伊豆温泉病院の移転新築への支援に関しては、この際、伊豆半島の中央部には存在しない感染症指定病院とするような働きかけをするべきかどうか。○新中学校について言えば、規模を求めて取って替わりの状態を作るとも言える学校統合が果たして良いのかどうか、まだ他にもポストコロナ時代の市民生活において考えておくべきことがあるはずです。そうした議論を進めておく必要があると思いますがいかがでしょうか。

③ 人口減少社会を克服し、誇りと活力に満ちた伊豆市を創造するための事業推進として4点挙げています。

(1)その中の「産業振興」ですが、従来から伊豆市の基幹産業と位置付けられている観光業の重要性は引き続き変わらないことをその対策方針で示しています。しかしながら、今回のコロナ騒動で極めて脆弱な産業であることが改めて明らかになりました。観光業に対し、積極的かつ大胆な振興策を進めることに異存はありませんが、市内の経済基盤を安定化させる意味でも観光業に次ぐ基幹的な産業の確立を進めるべきと思います。その見解を求めます。

(2)「移住・定住促進」については、施策の強化ということで牧之郷駅及び修善寺駅周辺地域を具体的に示していますが、実現可能性の高い牧之郷地区の住宅地開発について、移住・定住を確実なものにするための施策を具体的にどのように考えているのかお示しいただきたい。

(3)「教育環境の向上」についてですが、教育施設整備に関して「学校再編事業と歩調を合わせつつも、緊急に必要な整備は着実に進めていく」とあります。今回の市長選に関連する後援会討議資料の中に、「中伊豆中学校の場所に小学校を建て直して」という記述がありましたが、この一環なのでしょう。その真意を伺います。

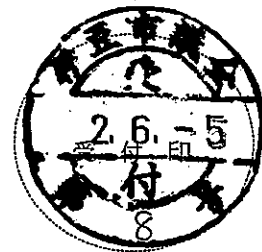
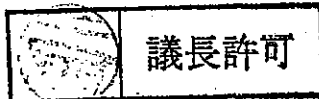
④ 市民の命を守る防災・災害対策のうち、防災拠点公園の整備については、文教ガーデンシティ構想の中止以降、これまでも「課題を整理する」「検討を進めたい」ということを幾度と

なく聞いてきたように思います。市として何をどのようにしたいのかをはっきりさせるべきです。新市建設計画の主要事業にも位置付けられていますので、そうした施設、拠点が真に必要なならば、文教ガーデンシティ事業構想の中に含まれていたものより規模的にも機能的にも格段に優位なものが構想できるものと思います。この点についての見解を伺います。

- ⑤ 政策の実効性を高める行財政改革については、そのひとつとして、組織及び事業のあり方について見直しをするとあります。その中で総合的アウトソーシングや業務委託、民間活力活用に触れています。

もとより、あらゆる事業において業務委託の多さを感じていましたし、本来職員が担い庁内財産として蓄積すべきものまで外部化を進めてきた業務もあります。ポストコロナにおいては、職員の働き方の抜本的な改革が求められます。これまでの行政改革プランの延長線上に留まらない施策の検討を期待し、このことに関する見解を伺います。

- ⑥ 最後に、伊豆市の未来を拓くために、「新しい生活様式」「新しいまちづくり」は市民自身が考えるとあります。その先頭に市長が立っていただくことに異論はありませんが、市民に対してどのような機会や場を与えて議論を促すのか、そしてその考えをどのように聴取するのか、それがなければ先頭に立ちようがないと思うのですが、何か具体的な方策をお考えであるならお示しいただきたい。



発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年 6月 5日

伊豆市議会議長 様

議席番号 9 議員名 青 木 靖

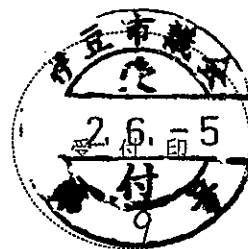
No. 1

発言の種別 (○で囲む)		
○一般質問		質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1 政策の実効性を高める行政改革とは	<p>今回の議会6月定例会の初日、市長は所信表明の中で大きく4つの項目の4番目として「政策の実効性を高める行政改革」を掲げています。</p> <p>全体としては、平成16年の合併以来、伊豆市が直面している課題、公共インフラの整備・人口減少・少子化・高齢化・産業振興・地域活性化などへの対策について、引き続き、地方分権化の流れの中、国の制度等に沿って、社会の変化に対応しながら、新しいまちづくりを進めていこうとしている、ということが推測できます。</p> <p>その中で、「行政改革」については、(1)簡素で効率的な組織及び事務事業のあり方の見直し (2)市有施設の整理統合 の2点に言及しています。</p> <p>①「簡素で効率的な組織」とは、どのような組織を目指すのか。その背景、改組の方針と具体的な内容は。</p> <p>②「事務事業のあり方の見直し」の、民間活力の活用では、総合的なアウトソーシングも検討するとのことだが、どの分野を、どの程度、検討しようとしているのか。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>③「市有施設の整理統合」を進める一方、真に必要なインフラの整備は、遅滞なく着実に、市民の目に見えるように進めていくべき、と考えますが、どのような方策をとるのか。財源確保はどうするのか。</p>	市 長
	<p>④今回の行政改革が、現状の伊豆市の課題解決に対してどのような効果と結果を生むのか、関連づけて説明を。</p>	
	<p>⑤市内で有数の従業員数(職員数)の会社(自治体)である伊豆市役所ですが、今後、どのような規模での活動を考えているのか。</p>	
	<p>又、果たすべき機能に対して必要な職員の確保については、どのように行っていくのか。</p>	
	<p>更に、職員教育や、より専門的分野についての知識・技能の習得については、どのように進めるのか。</p>	
	<p>⑥目指している「実効性のある政策」の実現と、市民が期待している「市役所の仕事」の出来高との乖離に気をつける必要があると思うが、市民に対しどのように説明していくのか。</p>	
	<p>⑦行政改革の中に、現在のような緊急事態への対応や、BCP（事業継続計画）の見直しも含まれるのか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和元2年6月5日

伊豆市議会議長 様

議席番号 7 議員名 杉 山 武 司

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1 伊豆市の新型コロナウイルス感染症対策と今後の対応、対処について	<p>全国で新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、伊豆市では市民の命と生活を守るためこの感染症の市内への感染防止対策として、観光業や飲食業などに営業の自粛の要請を行い、その協力金として近隣の市町の対応をはるかに超える伊豆市モデルの第一弾の対策を実施しました。</p> <p>続いて第二弾として一定期間の売上げが30%以上減少した法人事業者及び個人事業者に、「伊豆市地域経済応援給付金」制度を創設し、市内の産業を守るために更なる対策の充実を図りました。</p> <p>5月14日に39県で緊急事態宣言の解除がなされ、25日には全国で解除となりましたが、感染症が終息した訳ではありません。現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は抑制されつつありますが終息は見ていません。感染第二波・第三波が予想され、今後の成り行きによっては更に深刻な局面も考えられ、感染防止への対応は長期間に亘ることが予想されます。各々の感染防止策は自分のためだけでなく、家族、友人や知人を守り、結果として社会全体を守ることに繋がります。そのためにも私たちに感染防止のため、その時々状況に応じた適切な対策を講じる必要が求められます。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>5月10日から11日にかけて奄美・沖縄地方が梅雨入りとなりました。静岡県地方は例年6月8日ごろ梅雨入りとなり、日本列島はこれから秋にかけて大雨や台風等による局地的豪雨の時期となります。</p> <p>昨年台風19号は市内に大きな被害を及ぼし、市民の6.2%に及ぶ1,879名が市内各地の避難所に避難を致しました。</p> <p>近い将来南海トラフを震源とした巨大地震が想定されています。更に、集中豪雨と感染症の複合災害も予測されます。現在、県内で複合災害に備え避難計画に密閉空間、密集場所、密接場面といった三密を避ける感染症防疫対策を地域防災計画や避難所運営マニュアルに記載や記載予定の自治体が増加しています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の経済への特徴的な影響は、人の動きが止まると売り上げが全く無くなってしまうということです。</p> <p>6月になっても、国道414号線沿いの浄蓮の滝の観光客は疎らで、道の駅「天城越え」の商業施設は通常営業の再開予定さえ立っていません。</p> <p>人の動きが止まることにより市内で特に影響を受けるのは、旅行関連の宿泊業を始めとする飲食業、土産物店、観光施設等です。これら業種の雇用形態の特徴として、非正規雇用比率が全産業は28%なのに対し47%と高いことです。</p> <p>そもそも非正規雇用者は雇用調整の安全弁、あるいは低コストの労働力として扱われてきました。そのような社会的弱者の命と生活を守ることが、いま求められています。</p>	

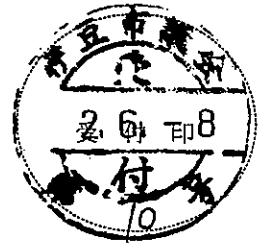
件名	内容	答弁を 求める者
	<p>今回明らかになったことは、東京一極集中が新型コロナウイルス感染症のリスクを顕在化させ、大都会の感染症への脆弱性がクローズアップされたことです。持続可能な社会を保つための抜本的な対策は分散型社会へのシフトしかありません。</p> <p>今こそ、この三密ピンチをチャンスとしてどのように捉えるのかが伊豆市の人口減少対策にも繋がるものと思います。</p> <p>もう一つこの感染症拡大で顕在化したことがあります。新型コロナウイルスの感染が世界規模で拡大する中、3月中旬から世界の食糧貿易に輸出制限の影響が出始めました。自国優先の政策はもったもで、現在は解消のようですが、カロリーベースで平成30年度食料自給率37%の日本は食料安全保障の重要性を改めて認識せざるを得ない状況となっています。</p> <p>以上を踏まえ以下の点について伺います。</p> <p>① 三密を避けた感染症との複合災害の避難所運営の備えは如何ですか。</p> <p>② 今回の感染症に伴う雇止めなどで生活保護費受給者の増加は如何ですか。</p> <p>③ 社会的弱者、特にひとり親世帯の親や自宅介護の介護者が感染した場合の支援策を伺います。</p> <p>④ この感染症を機に一極集中の是正を目指す地方創生が本年度から第二期に入り分散型社会への転換は加速すると思うが、今後の政策は如何か</p> <p>⑤ 食料自給率対策を伺います。国全体で37%静岡県では平成29年度概算値で16%ですが伊豆市では現状を把握していますか。</p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2 会計年度任用 職員制度の運用 の実態は	<p>⑥ 新型コロナウイルス感染症の影響による歳入の見込みを伺います。</p> <p>会計年度任用職員制度がスタートしてから3か月が経過しようとしています。伊豆市ではこの制度に関し、令和元年12月定例会において、議案第63号伊豆市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定が上程され、賛成多数で可決しました。</p> <p>この制度は地方公務員法と地方自治法を改正し、「一般職の会計年度任用職員制度を創設し、任用、服務規律等の整備を図り」「期末手当の支給を可能」とし、「これまでは、制度が明確ではなく、各自治体によって任用・勤務条件等々が夫々であった」ものを「統一的な取扱いを定め、今後の制度的な基盤を構築する」としたものです。この制度は、非正規公務員の待遇の改善を目的としていますが、法の趣旨とは異なり、結果として一部非正規職員の待遇を真逆にしてしまった自治体もあるようです、伊豆市では法改正の趣旨を充分理解し制度の運用を始めたと思いますが以下のことを伺います。</p> <p>① 伊豆市の非正規職員の女性比率を伺います。</p> <p>② 年収が下がると思われる職員はおりますか。</p> <p>③ 新制度移行後に退職した職員はおりますか。</p>	市長 教育長



議長許可

発言通告書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年 6月 8日

伊豆市議会議長 三田 忠男 殿

議席番号 15 議員名 森 良雄

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ()
発言の要旨		答弁を 求める者
件名	内容	
防犯カメラ	防犯カメラについては毎回、質問しています。	市長
	防犯カメラは日々、進歩しています。 AIの装着など	
	防犯カメラの一層の進化が、変化がうかがえます。	
	伊豆市は地域力を重視しているようですが。	
	地域力を否定するものではありません。	
	防犯カメラは犯罪抑止力が優れています。	
	犯罪抑止力に大きな効果があることについて、その抑止力は	
	半端ではありません。市長はどう考えますか。	
	地域力の一層の向上をはかりませんか。	
	防犯カメラで地域力の一層の向上をはかることができます。	
	市長は防犯カメラなしでも犯罪捜査が成り立つと考えていま	
	すか。防犯カメラは犯罪捜査でも高い効果を発揮しています。	
	リレー方式は防犯カメラの利用方法です。主流となっています。	
	多数の防犯カメラが設置されていて成り立つものです。	
	AI搭載の防犯カメラも出ています。	
	防犯カメラの犯罪抑止力について、市長は否定しますか。	
	防犯カメラで地域力の向上をはかりませんか。	
	防犯カメラは災害時にも有効です。	
	国土交通省は狩野川の堤防の上にたくさんカメラを設置しま	
	した。狩野川の水位を見るためです。川の様子を見るためです。	
	防犯カメラの多目的な利用を図ることができます。	
	安心安全は犯罪だけではありません。災害時にも利用できます。	

件名	内容	答弁を求める者
働き方改革	新型コロナウイルス感染症は働き方改革を一層進めます。	市長
	改革なくして、新型コロナウイルス感染症対策ありません。	
	伊豆市の人口減少は止どまることを知りません。	
	とうぜん、市の職員の人数も削減されるでしょう。	
	しかし、仕事量が増えることはあっても減ることはありません。	
	市の業務は増えこそあれ、少なくなることはありません。	
	そして、より一層のスピード化を求められています。	
	私が言うより、現場の職員の皆さんは実感していると思います。	
	スピード化と仕事の広がり容量の拡大が進んでいます。	
	正確性も求められています。セキュリティの向上も必要です。	
	前回は戸籍業務について伺いました。	
	戸籍業務は改革が必要です。業務のスピード化も必要です。	
	残念ながら伊豆市ではなかなか改革はできてないようです。	
	改革のためにはクラウド化が必要です。	
	クラウド化は業務の容量UPに必要です。	
	スピード化もできます。大きな武器となります。	
	クラウド化はより一層のセキュリティの向上をはかることができます。そう思いませんか。	
	政府からクラウド化の話は来ていませんか。	
	伊豆市のクラウド化についての考えを伺います。	
	クラウド化を進めている業務がありましたら伺いたい。	
	幸い、伊豆市では多くの業務を三島市、伊豆市および伊豆の国	
	市の三市で構成する電算センター協議会に参加しています。	
	この電算センターの昨年度の大きな仕事はクラウド化です。	
	伊豆市もその恩恵にあずかっています。	
	残念ながら68業務のうち、16業務は伊豆市独自の処理をし	
	ています。今回はそのうちの障害者福祉について伺います。	
	障害者福祉業務の電算センターへの参加は考えていませんか。	

件名	内容	答弁を求める者
通学路の	12月議会の一般質問に引き続き、確認します。	市長
安心。安全	市長は通学路の安心安全をどう考えていますか。	
	安全であると考えていますか。	
	国は通学路沿いにある水路の安全策を図るよう指導してい	
	ます。承知していますか。	
	それに対する伊豆市の取り組みについて伺います。	
	教育長に伺います。	教育長
	通学路の安心安全策について伺います。防犯カメラの取り付け	
	については市長は消極的です。	
	防犯カメラ以上の安心安全策があると思いますか。	
	防犯カメラの犯罪抑止力は大きいと思います。	
	コストや労力を考えた時、防犯カメラ以上の犯罪抑止力がある	
	と思いますか。	
	防犯カメラを設置されていると良いと思いませんか。	
	通学路に用水路などの水路があることは承知していますか。	教育長
	瓜生野の県道沿いには歩行者のためのレーンがあります。	教育長
	ここを自転車で通る一般の方や中高生がいます。	
	法令では自転車は左側通行で車道を走るのが正規と思いますが	
	学校ではどのように指導しているのでしょうか。	
	沿道の市民から危険との声があります。	
	統一した通行方法を周知してはいかがでしょうか。	
トレイル	昨年末にはトレイルランニングレースが開催されました。	市長
ランニング	今年度のレースの開催はどうか、伺いたい。	
レース	コースは台風被害で荒れていたと思いますが状況はいかがで	
	すか、復旧はすみしましたか、伺いたい。	
	このコースはトレイルランニングレースには向きません。	
	自然保護のためにも、伊豆市はレースから手を引きませんか。	
	今年度は実施しますか。	

件名	内容	答弁を求める者
修善寺南小学	修善寺南小学校のトイレは汚い・臭いと言われています。	市長
校のトイレ	市長、教育長に実際にトイレを見ていただきたい。	教育長
	そして感想を伺いたい。	
通学路に	瓜生野の中町に10件の分譲住宅ができました。	市長
溝蓋を	10軒はすべて入居済です。	
	ここの中心部には農業用水が通じています。	
	いつも水が流れています。	
	通学路の安全のためにも、住民の生活の安全のためにも危険個所に溝蓋を設置してはいかがでしょうか。	
アフター	新型コロナウイルス感染症対策はいろいろあります。	教育長
コロナ	崩壊の危機に瀕した、産業の支援も重要です。	
	国や県は、そして伊豆市も色々な支援策を考えています。	
	長期の学校の休業に遭遇した子供たちも大きな精神的な困難に遭遇していることと思います。	
	学業の遅れはどうでしょうか。	
	子供たちは精神的にも大きなショックを受けていると思います	
	がいかがですか。その対応についても伺いたい。	
	学業の遅れも心配です。いかがですか。	
	遅れの状況と対策についても伺いたい。	
	新型コロナウイルス感染症は2次、3次の恐れもあります。	
	それに対する準備はいかがですか。	
	ICTの準備も大切です。準備はしていますか。	
	ICT（情報通信技術）の対策状況を伺います。	
	ネット環境を保有しない家庭の把握はしていますか。	
	把握状況を伺います。	



議長許可

発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2 年 6 月 8 日

伊豆市議会議長 様

議席番号 13 番 議員名 西島信也

発言の種別	一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1 市長選挙法 定ビラにつ いて	本年 4 月に行われた伊豆市長選挙において、菊地ゆたか事務所が配布した選挙運動用法定ビラの中に「新ごみ焼却場建設に反対、文教ガーデンシティに反対、さらに新年度予算にも反対した元市議が出馬表明!」との記事が書かれていたが、どのような意図でこれを掲載したのか今後どのような市政運営に活かそうとしているかお尋ねします。	市長
2 コロナ禍に よる事業見 直し	市長は、今定例会の冒頭に所信表明を行ったが、その中で次のようなことを言われました。 「まずは、新型コロナウイルス感染症対策を最優先課題とし、市内での感染者を発生させないこと、そして市内の社会経済活動を安定的な回復軌道に乗せることが、東京 2020 大会に対する最大の支援策であると考えています。 そのため、3 月定例会に可決承認いただいた令和 2 年度事業においても、一部に延期や見直し、あるいは執行を凍結する事業があり得ることをご理解いただきたいと思います。」 そこで、このことについて以下のとおりお尋ねします。 ① 延期や見直し等をする理由は、どのようなものか。 ② 延期や見直し等をする事業名を明示していただきたい。	市長
3 コロナ禍営 業自粛協力 金等の支給	去る 4 月 12 日に市長記者会見において、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市内の宿泊業者、飲食業者に営業自粛を要請し、その協力に対し、1 店舗あたり宿泊業	市長

件名	内容	答弁を求める者
格差	<p>者 300 万円、飲食業者 50 万円を上限として協力金を支給することを発表しました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルスにより被害を受け、営業休止等に追い込まれた業者は、多岐にわたり、宿泊業者、飲食業以外の中小業者等にも給付金ということで一律 10 万円を支給することとしました。</p> <p>そこで、次の点についてお尋ねします。</p> <p>① どのような理由で、宿泊業者・飲食業者とその他業者に金額の格差をつけたのか。</p> <p>② これらの協力金、給付金の内容について、市長が市民に直接説明する機会を設けないのか。</p>	
4 老朽化マンションの管理適正化	<p>静岡県によると、県内に建てられたマンションは、1980 年代以降特にバブル期に急増し、年 100 棟前後が伊豆半島を中心にリゾート型マンションが多く供給されました。</p> <p>今後、老朽化や管理組合の担い手不足が顕著な、建設後相当の期間が経過したマンションが急増する見込みです。</p> <p>老朽化を抑制し、周辺への危害等を防止するための維持管理の適正化や、維持修繕等が困難なマンションの再生に向けた取り組みの強化が、喫緊の課題となっています。</p> <p>こうした状況のなか「マンション管理の適正化の推進に関する法律及びマンションの建替等の円滑化に関する法律」が改正される見込みとなり、県及び市の役割が強化されることとなりました。</p> <p>そこで、次の項目について質問をいたします。</p> <p>① 県からマンションリストを作成するような指示は、来ているのか。</p> <p>② 伊豆市内に区分所有法が適用される分譲マンションは、何棟、何戸あるか把握しているのか。</p> <p>③ 伊豆平パールマンションは、何棟、何戸あるのか。</p>	市長

